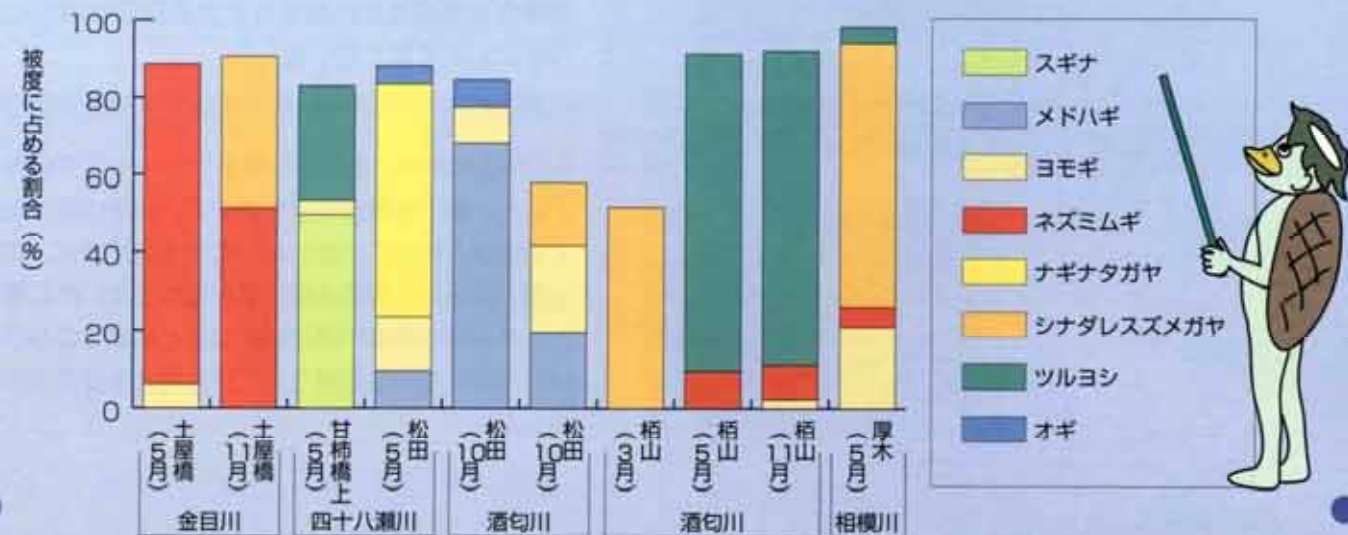


●金目川、酒匂川と支流の四十八瀬川、相模川の主な植物

川岸から流れと直角に2本のメジャーを延ばし、帯状の調査区の中の各植物が面積に占める割合(被度)を目測しました。グラフ中に赤、橙、黄色で示した植物は帰化種、淡色と青、緑色で示した植物は在来種ですが、土屋橋付近ではヨーロッパ原産の牧草ネズミムギが、相模川や酒匂川では法面緑化でおなじ

みのアフリカ原産シナダレスズメガヤが優勢していました。秋の酒匂川や、その支流の四十八瀬川では在来種が優勢で、昔ながらの川原の景観をとどめていました。四十八瀬川は植物群落から見て秦野では貴重な存在です。

(01年度・佐々木ゼミ 寺門 俊彦ほか)



金目川水系 せせらぎ通信

Vol.5

編集：金目川水系流域ネットワーク世話人会 発行：神奈川県湘南地区行政センター 発行日：2003年7月15日

大磯照ヶ崎海岸では、海水を飲みに来るアオバトの群れを見ることができます。どうしてなのか謎は深まりますが、静かに遠くからアオバトたちが波打ち際に舞う姿を観察してみましょう。

岩場で海水を飲むアオバト (二階堂賢氏撮影)

6~10月頃が特におすすめです



(二見博幸：ネットワーク世話人撮影)

海水を飲むアオバト

アオバトもお世話になっていきます エリザベスサンダースホームの森

アオバト (二階堂賢氏撮影)

「金目川水系流域ネットワークの目的」

金目川流域ネットワークは、流域を流れる川を通して身近な地域のことを考えたり、相互に交流することなどを通じて、流域の自然、文化、歴史、現在の課題などについての理解を深め、この流域で暮らす人々同士や行政などとの交流

を図りながら、みんなが交流できる新しい地域づくりの土壌を創っていきたくと考えています。皆様の参加をお待ちしております。詳しくは、下記「ネットワーク窓口」までお問い合わせください。



エリザベスサンダースホーム

1945年の敗戦の後、しばらく日本は連合国軍(代表としてアメリカ軍)の占領下にありました。その頃、アメリカ兵と日本人女性の間にできた混血児(1953年に3,490人の混血児が全国で確認された)の養育が問題とされていました。この有り様に心を痛めていた澤田美喜さんは、混血児の為に乳児院設立を決意します。敗戦後の混乱の中、澤田さんが資金調達の為に奔走しているとき、日本聖公会が信託エリザベス・サンダース女史から遺贈されていた170ドルを寄付してくれました。このことから、この施設創立への最初の寄付者である同女史を記念して、「エリザベスサンダースホーム」と命名され、1948年に澤田美喜さんを初代園長として開設されたのです。2名の園児から始まったホームは、翌年社会福祉法人児童養護施設としての認可を受け、その後、学校法人聖ステパノ学園小学校を併設。園児の年齢に合わせて1学年ずつ増設し、現在は中学校まで運営されています。(エリザベスサンダースパンフレット「エリザベスサンダースホームの歩み」より抜粋)

ホームの敷地は三ヘクタール余。大磯駅に程近い門を入ると、すぐにトンネルのあるような小山の中で、カシの大木にカエデなどの混じる鬱蒼(うっそう)とした森には夏、セミが盛んに鳴いています。アオバトは人工建造物にはとまらない鳥だそう、この森の木々が彼らが大磯の海岸に誘っているらしいのです。林内には、鳥たちが丹沢やその道筋から運んだ実も育っているかもしれません。ホームの森は丹沢山地と海をつなぎ、地域の生態系としても大変貴重な位置を占めているのです。

金目川水系の基礎知識

Q 金目川水系流域の市や町にも誕生日はあるのですか?

A 市や町にも誕生日(市や町になった日)があります。市(町)制施行日といえます。

平塚市	昭和7(1932)年	4月1日
秦野市	昭和30(1955)年	1月1日
伊勢原市	昭和46(1971)年	3月1日
大磯町	明治22(1889)年	4月1日
二宮町	昭和10(1935)年	11月3日

人間にたとえると、大磯町は114歳、伊勢原市が一番若くて32歳です。それぞれの市や町には、独特の歴史や文化があります。自分で自由研究として調べてみましょう。



●2月のフォーラムで金目川への熱い思いを聞いた後、限りある時間の中で、どんな活動を提案したらよいか、悩んでいました。皆さん!ご自分でやる気で、地域情報とご意見を!

●編集作業中にパソコンのハードディスクが壊れ、今まで蓄積しておいたデータが全てぶっ飛んだ。一瞬の空白が過ぎた。セーフティネットという言葉が、何故

か身にしました。(二見)

●前回号までは、ウォーキング、ウォッチング、フォーラムの活動報告でしたが、今回は、会の年間活動計画が報告出来ました。(藤吉)

●ウォーキングに参加して、金目川の昔の様子などを聞くことができ、現在の姿と重ね合わせて、考えさせられることが多かったです。おいしい湧き水を飲み、カジカガエルの声を聞いて感動しました。(藤吉)

編集後記

★情報誌の編集スタッフ募集

金目川水系流域ネットワーク世話人会では、一緒にこの通信を作ってくださいのスタッフの方を募集しています。興味のある方、やってみたいと思われる方は、左記の<ネットワークの窓口>までご連絡ください。

特集

読者が選ぶ

金目川水系富士山ビューポイント

もうすぐ夏休み!自分だけの金目川水系見どころマップを作ってみよう!

金目川水系富士山ビューポイント

もうすぐ夏休み！自分だけの金目川水系見どころマップを作ってみよう！

自分の見どころポイントをさがすときは、その場所のマナーやルールを守りましょう

金目川水系と富士山

金目川水系が運んだ丹沢山地の土石とともに、西方の富士・箱根火山から飛来した噴出物が、この流域の土壌をつくってきました。今、静かにそびえる富士山を、あらためて眺めて見ましょう。

第4号で、金目川流域からの富士山の眺めについてお伺いしたところ、お二人から情報が寄せられました。

大磯町の高橋美加子さんからは、「**東海大学野球部グラウンドから神奈川大学に向かう下り坂から見る晴れた日の富士山はとてすばらしいです。**それから、大磯にある老人保健施設「**幸寿苑**」から望む富士山は正に絶景です。利用者のお年寄りの方々も心をなごませておられるようです」

というお便りを頂きました。

また、秦野市の横溝保さんからは、「**秦野盆地から見える富士山は日本一、いや世界一かもしれないと言いつけております**」として、内海行男さん撮影の写真を送って頂きました。

富士山は、金目川流域に住む者にとって常に遠くに仰ぐ親しい存在であるようです。

ここでは、流域とその周辺8カ所からの写真を紹介します。
(平塚市博物館学芸員 浜口哲一)



1. 秦野市立南小学校から見た富士山



2. 秦野市善波峠から見た富士山



3. 平塚市土屋から見た富士山



4. 平塚市上平塚から見た富士山



5. 平塚市浅間町から見た富士山



6. 平塚駅から見た富士山



7. 平塚市虹ヶ浜から見た富士山

富士山観察ミニミニポイント

- 日の出の時や、日没の時の富士山はどんな色に見えるか観察してみよう
- 午前と午後ではどんな色に見えるか観察してみよう
- 富士山の頂上付近にかかる雲の様子を観察してみよう
- 雲の様子と天気の間を関係を観察してみよう
- 冬の季節なら、富士山の雪の量を観察してみよう
- 富士山のどれくらいまで雪が積もるか観察してみよう
- 春になったら、富士山に最後まで残った雪の位置を観察しよう
- これ以外にも、自分でテーマを決めているものを観察してみよう。おもしろい発見がきっとあります。

※観察するときは、周りの様子にも注意して、けがや事故のないように気をつけましょう。

富士山ミニミニ知識

- 高さは日本最高峰の3,776m。世界の火山の中でも29番目の大きさです。
- 直径は東西に約39km、南北に約38kmでほぼ円形です。
- 富士山は休眠火山です。最後に噴火したのは江戸時代の宝永7年(1707年)。
- 富士山に一年間に降る雨や雪の量は約20億リットル。
- 富士山の湧き水は長い時間をかけて作られます。富士山の溶岩層は水を通しにくいので、麓(ふもと)に湧き出るまで時間がかかるのです。

こんな活動をしました

参加者からの声

5月10日に上秦野地区方面に研修ウォーキングに行ってきました。四十八瀬川の上流部で、湧き水も多く起伏に富んだ地形で、自然が多く残る地域でした。四十八瀬川の現状を守る必要性や、駐車場などは設けずに歩道整備程度にとどめておいた方がいいと感じました。また「生き物の里」の計画があるようですが、その場合も整備するにあたっては必要最低限にとどめた方がよいのではと思いました。

6月8日に水無川上流部に研修ウォーキングに行ってきました。堀戸大橋から平和橋まで、川岸は街に狭められて遊歩道となっていました。その上流部では、秦野戸川公園が都心の公園の水遊び場と変わらないのに驚きました。子どもの頃の川遊びの思い出とあまりにかけ離れていたもので、複雑な気持ちで「川を考えなければ」と思いました。

こんな活動を予定しています

8月30日に研修ウォーキングとして、中井町井ノ口にある厳島湿生公園に行きます。湧水をいかした公園整備の状況などを見学します。

11月に見学ウォーキングを、**3月**にフォーラムを開催する予定です。

■研修ウォーキング
ネットワーク世話人を対象とした勉強会ですが、一般参加も可能です。
■見学ウォーキング
一般の方を対象としてネットワークが主催する見学会です。

一緒に参加しませんか？

富士山写真提供
①、②…内海行男氏
その他…平塚市博物館

